

株式会社 吉田工業

DX宣言書

2026年9月25日
株式会社 吉田工業
代表取締役社長 吉田 智

□ 経営理念

共に世界を拓く

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術を活用し、場所を問わず情報を共有できる基盤を整備することで、社員が本来の業務に集中できる働きやすい環境を実現します
- ◆ 培ってきた技術と経験を次の世代へつなぐとともに、効率化で生み出した時間と利益を社員へ還元し、社員とともに成長し続ける企業を目指します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2027年7月)

戦略 「現場とつながる情報共有基盤の整備」

- 施策
- ・ 現場・出先からスケジュールや人員配置の確認・更新を可能にするため、タブレット・モニター等を活用した情報共有の仕組みを整備
 - ・ タブレットによるスケジュール管理を継続的に実施し、円滑な情報共有を実現するため、日常業務と組み合わせた利用方法と入力ルールを整備
 - ・ 休暇等の社内申請業務の効率化を図るため、社内申請を電子化し、現場・出先からでも申請できる仕組みを整備
 - ・ 継続的なDX推進と安全なデジタル活用を実現するため、DX推進体制の構築および情報セキュリティ・AI利用の基本ルールを整備

➤ フェーズ2(2027年8月 ～ 2028年7月)

戦略 「顧客情報・案件情報の整理と業務効率化の推進」

- 施策
- ・ 顧客による自社HPへの相談入力を簡略化するため、問い合わせ種別や相談内容を選択式で指定できる自社ホームページの問い合わせフォームを整備
 - ・ 見積り作成の負担を軽減するため、複数ある見積り様式や作成手順を整理・標準化
 - ・ 案件ごとの採算をタイムリーに把握できるよう、個別に管理している案件・原価情報の運用方法を統一し、重複入力を減らしながら採算を確認できる仕組みを整備
 - ・ 業務負担に応じた人員配置や協力体制づくりに向けて、進捗管理の入力項目と更新ルールを整え、担当者ごとの案件数や進捗状況を共有を実現
 - ・ 迅速な経営判断に向けて、案件の進捗・売上見込み・採算情報を集約し、関係者が随時確認できる環境を整備

➤ フェーズ3(2028年8月 ～ 2029年7月)

戦略 「ノウハウの継承と成果還元による成長基盤の確立」

- 施策
- ・ 技術やノウハウを次世代へ確実につなぐため、親方が実践している育成の流れや、見積り・仕入れの判断ポイントを整理し、教育資料として体系化
 - ・ 過去の案件情報を新たな提案に活かすため、蓄積されている案件データを参照しやすい形に整理し、類似案件の確認や提案内容の検討に活用
 - ・ 継続的な業務改善のため、蓄積した案件・採算データを分析し、業務負担や収益性の改善につながる取り組みを実施
 - ・ DXによる効率化の成果を社員へ還元するため、創出した時間・利益を処遇改善や福利厚生の拡充に充てるとともに、社員の成長や成果を適切に評価できる仕組みを整備

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役社長がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 見積作成時間 : 2026年度比 20%削減(～2028年7月)
- ・ 人時生産性 : 2026年度比 10%向上(～2028年7月)
- ・ 業務改善件数 : 年間15件以上(2026年8月～)